

2 火災の概要

(1) 概 要

平成24年中における火災の概況は、出火件数757件、これらの火災による被害は、損害額18億3,654万2千円、死者36人、負傷者100人、焼損棟数602棟、建物焼損床面積27,815㎡、同表面積2,153㎡、林野焼損面積106a、り災世帯数323世帯、り災人員865人となっている。(表2-1)

表2-1 平成24年中の火災の概況

区 分		平成24年 (A)	平成23年 (B)	増減数 (C)=A-B	増減率 (C/B*100)	
出火件数	建物火災	398 件	418 件	△ 20 件	△ 4.8 %	
	林野火災	21 件	34 件	△ 13 件	△ 38.2 %	
	車両火災	81 件	90 件	△ 9 件	△ 10.0 %	
	船舶火災	0 件	1 件	△ 1 件	△ 100.0 %	
	その他の火災	257 件	299 件	△ 42 件	△ 14.0 %	
	計	757 件	842 件	△ 85 件	△ 10.1 %	
焼損棟数	全 焼	161 棟	151 棟	10 棟	6.6 %	
	半 焼	54 棟	36 棟	18 棟	50.0 %	
	部分焼	186 棟	201 棟	△ 15 棟	△ 7.5 %	
	ぼ や	201 棟	226 棟	△ 25 棟	△ 11.1 %	
	計	602 棟	614 棟	△ 12 棟	△ 2.0 %	
焼損面積	建物	床面積	27,815 ㎡	21,776 ㎡	6,039 ㎡	27.7 %
		表面積	2,153 ㎡	2,315 ㎡	△ 162 ㎡	△ 7.0 %
	林 野	106 a	316 a	△ 210 a	△ 66.5 %	
死 者		36 人	42 人	△ 6 人	△ 14.3 %	
負 傷 者		100 人	85 人	15 人	17.6 %	
り災世帯	全 損	83 世帯	99 世帯	△ 16 世帯	△ 16.2 %	
	小 半 損	240 世帯	256 世帯	△ 16 世帯	△ 6.3 %	
	計	323 世帯	355 世帯	△ 32 世帯	△ 9.0 %	
り 災 人 員		865 人	905 人	△ 40 人	△ 4.4 %	
火災損害額	建物火災	建 物	1,122,172 千円	1,067,762 千円	54,410 千円	5.1 %
		収 容 物	532,317 千円	558,235 千円	△ 25,918 千円	△ 4.6 %
		計	1,654,489 千円	1,625,997 千円	28,492 千円	1.8 %
	林野火災	456 千円	3,170 千円	△ 2,714 千円	△ 85.6 %	
	車両火災	45,827 千円	54,162 千円	△ 8,335 千円	△ 15.4 %	
	船舶火災	0 千円	207 千円	△ 207 千円	△ 100.0 %	
	その他火災	132,184 千円	9,781 千円	122,403 千円	1251.4 %	
	爆 発	3,586 千円	43,303 千円	△ 39,717 千円	△ 91.7 %	
	合 計	1,836,542 千円	1,736,620 千円	99,922 千円	5.8 %	
出 火 率 (人口1万人あたりの出火件数)		3.65 件	4.05 件			

出火件数を前年と比べると、総出火件数で85件(△10.1%)の減少となっており、火災種別ごとに見ると、建物火災20件(△4.8%)、林野火災13件(△38.2%)、車両火災9件(△10.0%)、船舶火災1件(△100%)、その他火災42件(△14.0%)と全て減少している。

損害額を前年と比べると、総額で9,992万2千円(5.8%)増加している。火災種別ごとに見ると、建物火災2,849万2千円(1.8%)、その他火災1億2,240万3千円(1251.4%)、増加しており、林野火災271万4千円(△85.6%)、車両火災833万5千円(△15.4%)、船舶火災20万7千円(△100%)、爆発3,971万7千円(△91.7%)減少している。

次に、平成24年中の火災を1日あたりで見ると、出火件数2.1件、損害額503万2千円、建物焼損棟数1.6棟、建物焼損床面積76.2㎡、建物焼損表面積5.9㎡、林野火災面積0.3aとなっている。(表2-2)

表2-2 1日あたりの火災による損害

区 分	単 位	平成24年(A)	平成23年(B)	増減数(A-B)
出 火 件 数	件	2.1	2.3	△ 0.2
損 害 額	千円	5,032	4,758	274
建 物 焼 損 棟 数	棟	1.6	1.7	△ 0.0
建 物 焼 損 床 面 積	㎡	76.2	59.7	16.5
建 物 焼 損 表 面 積	㎡	5.9	6.3	△ 0.4
林 野 焼 損 面 積	a	0.3	0.9	△ 0.6

(2) 出火件数

ア 火災種別出火件数

出火件数を火災種別ごとで見ると、建物火災は構成比52.6%で最も高い比率を占めており、次いでその他の火災(堤防・河川敷・空き地等の枯れ草等の火災)、車両火災、林野火災(原野・牧野・天然林・人工林の火災)の順となっている。

前年構成比と比べると、建物火災その他火災が増加し、林野火災、船舶火災、その他の火災が減少した。(表2-3)

表2-3 火災種別出火件数の構成比 単位:件、%

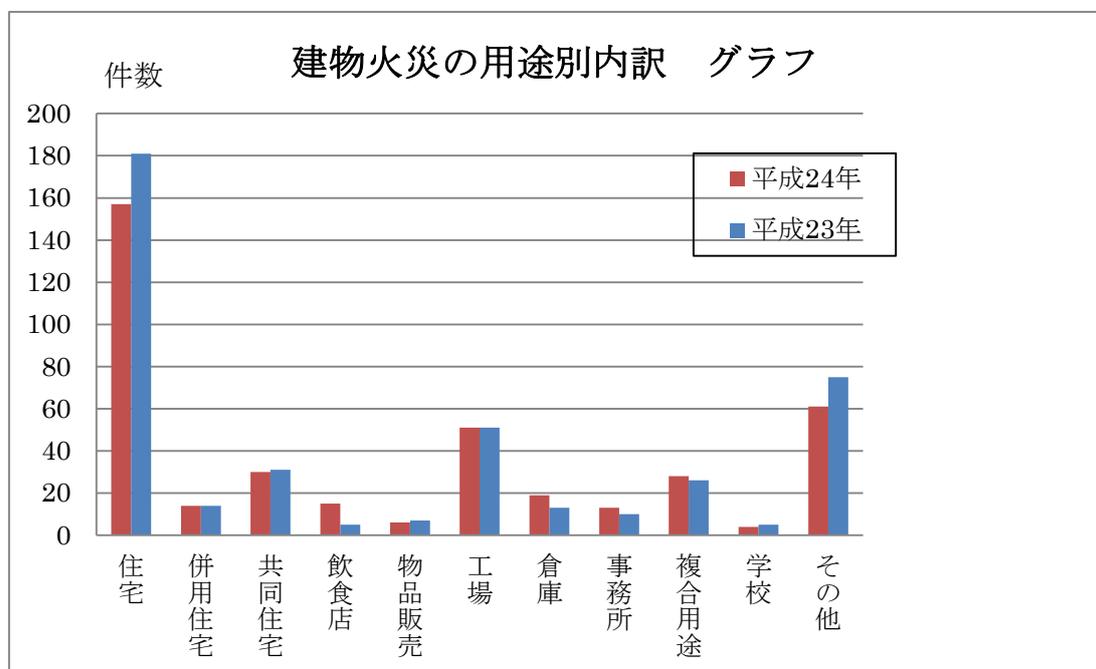
	平成24年		平成23年	
	出火件数	構成比	出火件数	構成比
建 物 火 災	398	52.6	418	49.6
林 野 火 災	21	2.8	34	4.0
車 両 火 災	81	10.7	90	10.7
船 舶 火 災	0	0.0	1	0.1
そ の 他 の 火 災	257	33.9	299	35.5
計	757	100.0	842	100.0

イ 建物火災の用途別内訳

建物火災の出火件数を建物の用途別で見ると、住宅が157件(39.4%)、併用住宅が14件(3.5%)、共同住宅が30件(7.5%)発生しており、これらを合わせると50.4%となり、建物火災全体の約半数を占めている。件数順では次いで工場、複合用途(一つの事務所で2種以上の異なった事業を兼ねて行っている等)、倉庫の順となっている。(表2-4)

表2-4 建物火災の用途別内訳

区分		住宅	併用住宅	共同住宅	飲食店	物品販売	工場	倉庫	事務所	複合用途	学校	その他	合計
平成24年	件数	157	14	30	15	6	51	19	13	28	4	61	398
	構成比	39.4	3.5	7.5	3.8	1.5	12.8	4.8	3.3	7.0	1.0	15.3	100
平成23年	件数	181	14	31	5	7	51	13	10	26	5	75	418
	構成比	43.3	3.3	7.4	1.2	1.7	12.2	3.1	2.4	6.2	1.2	17.9	100



ウ 季節別出火件数

出火数を季節別にみると、4月～6月が213件（28.1%）と最も多く発生しており、次いで10月～12月206件（27.2%）、1月～3月187件（24.7%）、7月～9月151件（19.9%）の順となっている。

前年に比べると、1月～3月の比率は減少しているが、4月～6月、7月～9月、10月～12月の比率は増加している。（表2-5）

表2-5 季節別出火状況

区分		1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	合計
平成24年	出火件数	187	213	151	206	757
	構成比	24.7	28.1	19.9	27.2	100.0
平成23年	出火件数	259	232	158	193	842
	構成比	30.8	27.6	18.8	22.9	100.0

(3) 出火原因

出火件数を出火原因別に見ると、たばこによる火災が67件（8.9%）で1位となっている。続いて、たき火58件（7.7%）、こんろ58件（7.7%）、放火の疑い48件（6.3%）、放火42件（5.5%）の順となっている。

昨年と比べると、たばこ1件（1.5%）、ストーブ4件（17.4%）、排気管5件（41.7%）が増加している。（表2-6）

表2-6 出火原因別の出火件数と出火原因比率

	平成24年(A)			平成23年(B)			増減 (C) A-B	増減率 (C/B) *100
	順位	件数	構成比	順位	件数	構成比		
たばこ	1	67	8.9	2	66	7.8	1	1.5
たき火	2	58	7.7	1	98	11.6	△40	△40.8
こんろ	3	58	7.7	3	61	7.2	△3	△4.9
放火の疑い	4	48	6.3	4	54	6.4	△6	△11.1
放火	5	42	5.5	5	44	5.2	△2	△4.5
火入れ	6	29	3.8	6	30	3.6	△1	△3.3
ストーブ	7	27	3.6	9	23	2.7	4	17.4
電灯電話	8	24	3.2	8	24	2.9	0	0.0
排気管	9	17	2.2	14	12	1.4	5	41.7
火遊び	10	16	2.1	7	28	3.3	△12	△42.9
その他		208	27.5		260	30.9	△52	△20.0
不明(調査中を含む)		163	21.5		142	16.9	21	14.8
計		757	100.0		842	100.0	△85	△10.1

(4) 損害額

平成24年中の火災による損害額は、18億3,654万2千円で、前年に比べ9,992万2千円増加しており、1件あたりの損害額も242万6千円と、前年に比べ36万4千円増加した。

火災種別ごとの損害額は、建物火災によるものがほとんどで全体の90.1%を占めている。次いで、その他火災(7.2%)、車両火災(2.5%)、爆発(0.2%)の順となっている。

火災種別ごとに1件あたりの損害額を前年と比べると、建物火災26万7千円、その他火災48万2千円増加し、林野火災7万2千円、車両火災3万6千円、爆発2,075万5千円減少している。(表2-7)

表2-7 火災種別損害額

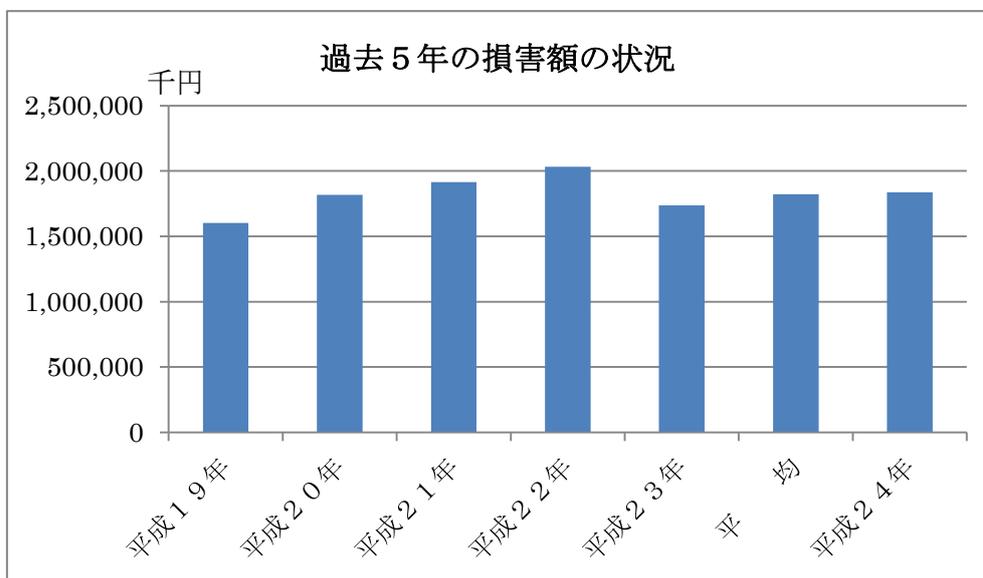
(単位:千円)

	平成24年			平成23年			増減	
	損害額	1件あたり 損害額	構成比	損害額	1件あたり 損害額	構成比	1件あたり 損害額	率
建物火災	1,654,489	4,157	90.1	1,625,997	3,890	93.6	267	6.9
林野火災	456	22	0.0	3,170	93	0.2	△72	△76.7
車両火災	45,827	566	2.5	54,162	602	3.1	△36	△6.0
その他火災 (船舶火災含む)	132,184	514	7.2	9,988	33	0.6	482	1,472.3
爆発	3,586	897	0.2	43,303	21,652	2.5	△20,755	△95.9
計	1,836,542	2,426	100.0	1,736,620	2,062	100.0	364	17.6

次に、平成24年中の火災による損害額を過去5年間の平均損害額と比べると、その他火災及び総額は平均を上回っており、建物火災、林野火災、車両火災及び爆発は平均を下回っている。(表2-8)

表2-8 過去5年間の損害額の状況

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災 (船舶火災含む)	爆発	総額
平成19年	1,540,591	1,261	42,795	18,785	0	1,603,432
平成20年	1,706,382	104	60,975	49,846	50	1,817,357
平成21年	1,780,102	599	54,143	73,086	7,797	1,915,727
平成22年	1,935,694	1,476	81,456	14,443	619	2,033,688
平成23年	1,625,997	3,170	54,162	9,988	43,303	1,736,620
平均	1,717,753	1,322	58,706	33,230	10,354	1,821,365
平成24年	1,654,489	456	45,827	132,184	3,586	1,836,542



(5) 火災による死者及び負傷者

ア 火災種別ごとの死者数

平成24年中の火災による死者数は36人で、前年と比較すると6人(14.3%)減少している。火災種別ごとの死者数は、建物火災によるものが27人で、死者総数の75.0%を占めている。次いでその他火災7人(19.4%)、車両火災2人(5.6%)の順となっている。

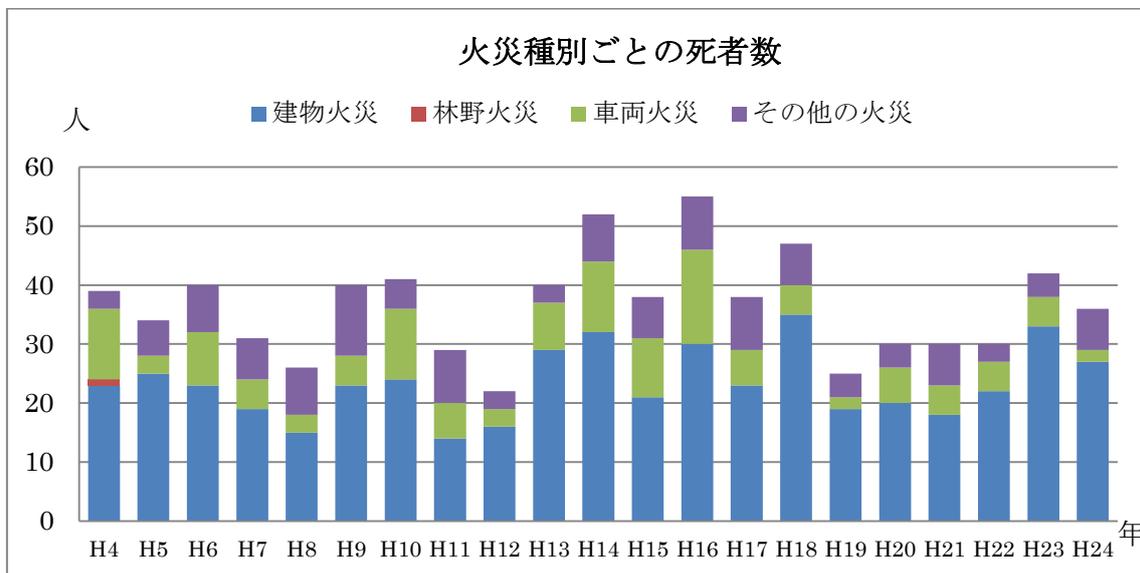
過去20年の平均と比べると、建物火災とその他火災が平均を上回った。(表2-9)

2-9 火災種別ごとの死者数

区分	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
建物火災	23	25	23	19	15	23	24	14	16	29
林野火災	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両火災	12	3	9	5	3	5	12	6	3	8
その他の火災 (船舶火災含む)	3	6	8	7	8	12	5	9	3	3
計	39	34	40	31	26	40	41	29	22	40

区 分	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
建 物 火 災	32	21	30	23	35	19	20	18	22	33
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	12	10	16	6	5	2	6	5	5	5
その他の火災 (船舶火災含む)	8	7	9	9	7	4	4	7	3	4
計	52	38	55	38	47	25	30	30	30	42

区 分	平均	H24
建 物 火 災	23.2	27
林 野 火 災	0.1	0
車 両 火 災	6.9	2
その他の火災 (船舶火災含む)	6.3	7
計	36.5	36



イ 火災種別ごとの負傷者

平成24年中の火災による負傷者は100人で前年に比べ15人(17.6%)増加している。火災種別ごとの負傷者は、建物火災によるものが79人で、負傷者総数の79.0%を占めている。次いでその他火災16人(16.0%)、車両火災4人(4.0%)、林野火災1人(1.0%)の順となっている。

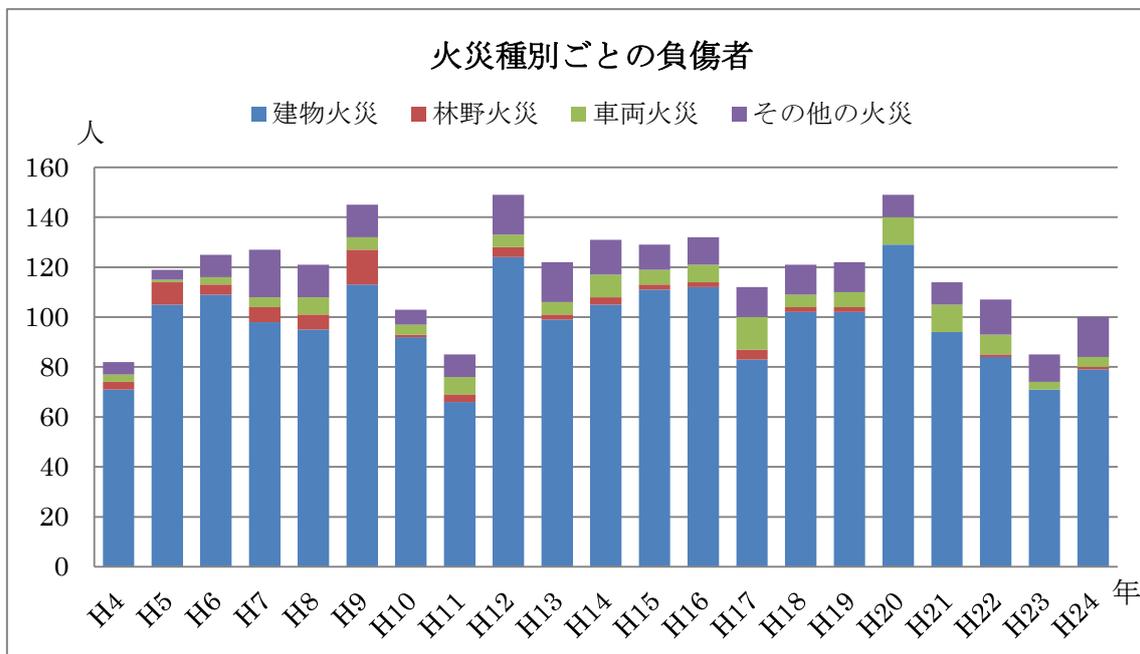
過去20年間の平均と比べると、その他火災が平均を上回った。(表2-10)

表2-10 火災種別ごとの負傷者

区 分	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
建 物 火 災	71	105	109	98	95	113	92	66	124	99
林 野 火 災	3	9	4	6	6	14	1	3	4	2
車 両 火 災	3	1	3	4	7	5	4	7	5	5
その他の火災 (船舶火災含む)	5	4	9	19	13	13	6	9	16	16
計	82	119	125	127	121	145	103	85	149	122

区 分	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
建 物 火 災	105	111	112	83	102	102	129	94	84	71
林 野 火 災	3	2	2	4	2	2	0	0	1	0
車 両 火 災	9	6	7	13	5	6	11	11	8	3
その他の火災 (船舶火災含む)	14	10	11	12	12	12	9	9	14	11
計	131	129	132	112	121	122	149	114	107	85

区 分	平均	H24
建 物 火 災	98.3	79
林 野 火 災	3.4	1
車 両 火 災	6.2	4
その他の火災 (船舶火災含む)	11.2	16
計	119.0	100



ウ 火災による死者の生じた原因

死者の生じた原因は逃げ遅れ17人(47.2%)、放火自殺8人(22.2%)、着衣着火3人(8.3%)の順となっている。(表2-11)

表2-11 火災による死者の生じた原因 単位：人・%

区 分	19年	20年	21年	22年	23年	平均	24年	構成比
逃 げ 遅 れ	11	15	8	7	12	10.6	17	47.2
出 火 後 再 進 入	0	0	1	1	0	0.4	0	0.0
着 衣 着 火	2	3	2	2	5	2.8	3	8.3
放 火 自 殺	8	8	12	7	9	8.8	8	22.2
その他(不明・調査中)	4	4	7	13	16	8.8	8	22.2
計	25	30	30	30	42	31.4	36	100.0

エ 年齢別の死者数

年齢別の火災による死者は、65歳以上が27人（75.0%）と多く、次いで6歳から64歳が9人（25.0%）の順となっている。（表2-12）

表2-12 年齢別の死者数

単位：人・%

区 分	19年	20年	21年	22年	23年	平均	24年	構成比
0歳～5歳	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
6歳～64歳	11	11	12	6	13	10.6	9	25.0
65歳以上	13	13	18	24	29	19.4	27	75.0
不明	1	1	0	0	0	0.4	0	0.0
計	25	25	30	30	42	30.4	36	100.0

オ 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係

死者の生じた原因と死者の年齢別の関係を見ると、その他（不明・調査中）を除き6歳から64歳は逃げ遅れ及び放火自殺が、65歳以上は逃げ遅れが最も多くなっている。（表2-13）

表2-13 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係

単位：人

区分	0歳～5歳	6歳～64歳	65歳以上	不明	計
逃げ遅れ	0	3	14	0	17
出火後再進入	0	0	0	0	0
着衣着火	0	0	3	0	3
放火自殺	0	3	5	0	8
その他(不明・調査中)	0	3	5	0	8
計	0	9	27	0	36

カ 死因別の状況

死因別の火災による死者数は、火傷13人（36.1%）が最も多く、次いで一酸化炭素中毒・窒息9人（25.0%）、自殺8人（22.2%）、となっている。（表2-14）

表2-14 死因別の状況

単位：人・%

区 分	19年	20年	21年	22年	23年	平均	24年	構成比
一酸化炭素中毒・窒息	4	8	9	7	8	7.2	9	25.0
火 傷	12	11	5	13	18	11.8	13	36.1
骨折・打撲等	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
自 殺	8	8	12	6	9	8.6	8	22.2
そ の 他	1	2	2	2	1	1.6	3	8.3
不 明	0	1	2	2	6	2.2	3	8.3
計	25	30	30	30	42	31.4	36	100.0

キ 死者の男女別の状況

男女の火災による死者数は、男性23人（63.9%）、女性13人（36.1%）となっている。（表2-15）

表 2-15 火災による男女別状況

単位：人・() 構成比%

区 分	19年	20年	21年	22年	23年	24年
男 性	14(56.0)	16(53.3)	18(60.0)	18(60.0)	27(64.3)	23(63.9)
女 性	11(44.0)	14(46.7)	12(40.0)	12(40.0)	15(35.7)	13(36.1)
計	25	30	30	30	42	36

(6) 過去20年間の火災種別出火件数の推移

平成24年の出火件数は757件で、過去20年間の平均出火件数1,036件と比較すると、279件少なくなっている。

火災種別ごとに見ると、建物火災398件、林野火災21件、車両火災81件と過去20年間で最も少なく、その他火災は257件で6番目に少なかった。すべての火災種別が平均を下回っている。(表2-16)

表 2-16 過去20年間の火災種別出火件数の推移と平均

区 分	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
建物火災	572	602	607	547	566	567	532	496	539	555	560
林野火災	68	105	120	118	95	99	49	67	46	63	49
車両火災	102	93	118	142	128	138	161	144	144	167	146
船舶火災	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0
その他の火災	248	319	490	399	409	324	244	239	295	375	357
計	990	1,120	1,335	1,207	1,200	1,129	986	946	1,024	1,160	1,112

区 分	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	平均	H24
建物火災	529	539	524	488	529	494	443	417	418	526	398
林野火災	27	48	46	30	49	34	54	35	34	62	21
車両火災	151	151	133	134	112	125	119	95	90	130	81
船舶火災	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
その他の火災	235	314	266	337	332	299	329	255	299	318	257
計	942	1,052	969	989	1,022	952	945	802	842	1,036	757

